

令和 3 年

第 1 回（3 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	3 番 田 添 有 喜 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 河川整備に係る河川内の樹木伐採と浚渫について</p> <p>コロナ禍の中で住民の住環境に対しての不安はかなり高まっている。この状況の中で、今年も大雨や大型台風等の自然災害が起こると住民の不安や恐怖はさらに高まる。</p> <p>町が掲げている景観の整備等を考えても、県依存ではなく町単独事業として早急に河川整備を行うべきと考える。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 昨年12月議会後、河川整備についてどのような取り組みを行ったのか。</p> <p>(2) 実際に河川の状況を見て、どのような感想を持ったのか。</p> <p>(3) 県は、稗木場郷皿山川の浚渫と岳辺田郷（梅高野）の樹木（ヤナギ）伐採を300メートルほど行った。町として、整備後の状況を見てどのように感じたか。</p> <p>(4) 県が実施した河川整備について、町としてどのような要望等を行ったのか。</p> <p>(5) 河川法によると、町単独で河川の整備はできるようになっているが、町として踏み出せない理由は何か。</p> <p>2. 道路整備について</p> <p>町道等の補修整備等が実施され、住みよい町づくりに取り組まれていることは、住民の安全・安心の視点からも大きな喜びとなっていることを嬉しく思う。しかし、早急に改善が求められる箇所も多くある。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 道路及び歩道の状況について、12月議会で指摘した箇所について、実際に足を運び、どのような感想を持ち、今後どのような対応を考えているか。</p> <p>(2) 早急に整備が必要な箇所は、山角橋から焼野区間であり、併せて歩道の整備を行うべきである。現在も交通量が多く、速度違反の車も増加している。児童・生徒の安全確保を考えると早急に対応すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 道路の陥没箇所があるが、定期的な点検はどのように行っているのか。現在、把握されている箇所はどこか。また、今後の対応はどのように考えているか。</p> <p>3. 教育行政について</p> <p>平成27年4月1日に「新教育委員会制度」が施行された。本町も平成29年10月の教育長の任期満了により、新たな教育委員会制度がスタートした。</p> <p>新教育委員会制度により、どのような取り組みと成果があるのか、次のことを問う。</p>		

	<p>(1) 本制度の改革事項に、「地域の民意を代表する町長との連携を強化」とあるが、以前の教育委員会制度とどのような改革が図られているのか。</p> <p>(2) 本制度では、総合教育会議を設置するようになっている。また、この会議の内容は、公表が原則となっている。</p> <p>本町では、「広報波佐見」で会議の様子が紹介されているが、詳しい会議内容については公表されていない。</p> <p>例えば、佐々町は会議の議事録がネット上で公表され、町民が会議の内容を知ることができ、住民の意見が生かされる体制ができている。本町の総合教育会議の現状はどうなっているのか。</p> <p>(3) 本町の学力低下の原因は、12月議会答弁で子どもたちの「読解力」が学力低位の要因の一つであると説明された。その他の要因として、どのようなことを考えているか。</p> <p>また、いじめの現状（件数）や不登校の現状（件数）はどうなのか。</p>
<p>質問の相手</p>	<p>町 長、教育長</p>
This area is intentionally left blank for the response content	

通告順位	2	通告者	6番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 自治会を取り巻く環境変化に関わる対応について</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、町内においても各種行事が軒並み中止されている。</p> <p>同時に自治会主催の年間行事も大きく減少し、活動が大きく制約されている。単身世帯の増加、高齢化の進展などで、自治会加入者数は減少傾向にあり、役員確保も困難を増している。人口規模が小さい地域については、今後の組織運営も非常に厳しい環境が想定される。</p> <p>(1) 町民の自治会加入率はこの10年間、どう推移しているのか。</p> <p>(2) 地区別の自治会加入者数と加入率は。</p> <p>(3) 自治会に委託する町の事務は、どのようなものがあるか。</p> <p>(4) 自治会の運営に関して、課題をどう把握しているか。</p> <p>(5) 自治会長会の開催の経緯と、これまでの変遷は。</p> <p>(6) 自治会の今後の運営について、検討する協議会等を立ち上げる考えはないか。</p> <p>2. 歴史文化交流館開館後の「陶芸の館／観光交流センター」活用について</p> <p>4月開館に向けて、歴史文化交流館の開設準備が行われている。</p> <p>これまでに、本町陶磁器の歴史を解説する施設として、陶芸の館が果たしてきた役割は大きい。</p> <p>引き続き、陶磁器の歴史については、この施設にて展示するとの方針であるが、2つの施設の違いを明確にし、観光拠点としての魅力を高めるためにも、施設の見直しが求められる。</p> <p>(1) 「歴史文化交流館」と「陶芸の館」どのように2つの施設を使い分ける方針か。</p> <p>(2) 陶芸の館の年間利用者数の推移はどうか。</p> <p>(3) 窯業人材伝承施設としての陶芸の館について、今後の事業方針は。</p> <p>(4) 「波佐見焼サクセッサー養成講座」を陶芸の館にて開催する考えはないか。</p> <p>(5) 波佐見町における「クラフト・ツーリズム」の拠点として、陶芸の館を活用する考えはないか。</p>		

通告順位	3	通告者	5番 福田勝也 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>新型コロナウイルス感染症が発生してから1年を超え、第2波、3波と全国的に多数の感染者が出ており、多くの方が命をなくされている。</p> <p>本町においても、感染者が確認されている。</p> <p>コロナワクチンの開発により、全国的に各自治体で、ワクチン接種の準備が進められている。新型コロナウイルスの感染防止対策として、有効なものと期待するものである。</p> <p>(1) 本町において、コロナワクチン接種の方法、段取りについてはどのようになっているか。</p> <p>(2) コロナワクチンの安全性についてはどうか。</p> <p>(3) ワクチン接種は強制ではないが、接種率向上のためにどのように対応するのか。</p> <p>2. 波佐見町職員採用試験について</p> <p>本町として毎年職員採用試験が実施され、本年も3回にわたり波佐見町職員採用試験が実施された。</p> <p>(1) 過去5年間の応募人数、採用人数の実績は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 採用試験の公募、試験等の日程は、どのようになっているか。</p>		

通告順位	4	通告者	11番 藤川法男 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町の産業振興について</p> <p>昭和53年度から昭和63年度まで行われた新農業構造改善事業で圃場が整備され、機械の大型化が進み、圃場への取水も自動開閉の油圧式可動堰が設置された。</p> <p>(1) 下湯無田の鶴の川橋付近に設置された可動堰は、湯無田郷上流からと田別当川との合流する場所で水の流れが変則になり、大雨時の大水量により、その圧力で故障が相次いで発生している。早急な対応をすべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 整備され40年以上経過した圃場周辺は、宅地化され車の通行量も多く、また防除等の際、苦情もあり農地として適さなくなった場所もある。農地除外の対象にすべきであるがどうか。</p>		
	<p>2. 窯業振興について</p> <p>陶磁器製造で廃石膏の再生や処理事業は永年の課題であり、様々な試みの中で農地の土壌改良材として模索されている。今後、この事業をどのように推進するのか。</p>		
	<p>3. 施政方針について</p> <p>(1) 民生・児童委員の方々は、少子化や核家族化により地域の繋がりが薄い中、子育てや介護、また高齢者や障がい者の相談相手としてプライバシー厳守の中で業務を行っている。しかし、報酬は、法律上給与と認められず少額な活動費として支払われている。何らかの改善をすべきと思うがその対策は。</p> <p>(2) 本町は、コロナ禍の中でイベント実施のあり方として「あっちこっち陶器祭り」を今後の指針としている。その中、観光事業推進として体験型観光等、人との交流など計画があるが、一定のルール・マニュアルが必要と思うがどうか。</p> <p>(3) 財政運営において、国・県はもとより市町村も財政健全化が求められる中、新型コロナの発生により、国・県も異次元の対策で予算もひっ迫している。過去にも全国的な災害後に各事業費の減額や予算の内示率の大幅な低下があった。今後も西ノ原土地地区画整理事業等において、多額の予算が必要とされる中、事業費の減額がある場合どう対処するのか。</p>		

通告順位	5	通告者	4番 岡村達馬 議員	
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町の町づくり整備について</p> <p>(1) ここ数年、波佐見町の町づくり計画は全てが縮小・削減案ばかりで将来の形態が見えない。次の世代に残す「安全で快適な住みよい町づくり」の具体的な提案は。</p> <p>(2) かつての都市計画道路で、舞相・横枕間及び大日・館線は児童・生徒の安全な通学路として、また町民のコミュニティ施設への利活用道路として、さらには避難道路として最も必要とされていた道路計画事業であったはずである。なぜ計画から除外されたのか。</p> <p>(3) 下水道事業は、町民の快適な生活のために全町的に普及させる必要がある。しかし、区域の縮小及び除外がなされているが、関係地区への説明と地元の同意は得られているのか。</p> <p>また、計画縮小前と縮小後の町民の負の部分は、 下水道経営に影響する内容は。</p> <p>2. 新庁舎建設計画について</p> <p>(1) 基本計画から実施計画への段階ではあるが、庁舎ばかりでなくその事業内容の全容が町民に対し知らされていない。庁舎建設や関連事業についても実施設計に入っていく前に、もっと情報提供や啓発を図るべきでは。</p> <p>(2) 昨年9月の議会において、約18億の事業費が説明されていたが、現在の資料は22億に膨れ上がっている。その理由と根拠は何かを詳細にするべきでは。</p> <p>(3) 庁舎建設に関わるその他の全体計画はどうか。</p>			

通告順位	6	通告者	1番 澤田昭則 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 新型コロナウイルス対策支援事業について</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大によって経済が低迷し、所得の減少や生活においても不便で不安を抱えている。緊急生活支援施策で迅速な対応ができた水道基本料金や給食費の減免は、好評価であった。</p> <p>いよいよワクチンの接種が始まったが、生活は、感染防止や厳しい経済の中でまだまだ不安である。</p> <p>そこで、波佐見町独自の生活支援事業として、次の施策を支援できないか。</p> <p>(1) 令和3年度上水道事業で基本料金の5ヶ月分を全戸減免できないか。</p> <p>(2) 令和3年度学校給食の支援事業で小・中学校の給食費1学期分を減免できないか。</p> <p>2. 町民霊園について</p> <p>町民霊園は、公営墓地として312区画が設置されているが、トイレが無く不便であるため新設はできないか。</p> <p>3. 施政方針について</p> <p>(1) 住宅性能向上リフォーム支援事業の申請者が、コロナ禍等で多くなっているため予算額を増額できないか。</p> <p>(2) 新庁舎建設計画の中で総合文化会館内にある教育委員会の移設は、町民の利便性を考え、また現在コロナ対策など考慮した実施設計が進む中、基本計画どおり新庁舎への移設でよいのか。</p> <p>(3) 波佐見町歴史文化交流館が開館するが、施設に関して台風など暴風雨災害対策は考えているか。</p> <p>(4) 今後、新幹線の開通に伴い、嬉野温泉駅が開業し嬉野医療センターも駅周辺へ移設したことにより、西肥バスの路線バス事業で佐世保・嬉野線の小樽郷経由から日ノ出城線でのバス運行を永尾郷経由と交互になるよう要望できないか。</p> <p>また、JR九州の路線バス事業で近隣の武雄・嬉野や有田から波佐見町へバス運行は、考えられないか。</p>		

通告順位	7	通 告 者	10番 脇坂正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 施政方針について</p> <p>「町長説明書」では、豊かな心を育む町づくりとして教育行政について述べてあるが、以下の項目について具体策を問う。</p> <p>(1) 小・中学校では、新年度からタブレットを使った指導が始まるが、具体的にはどう指導するのか。</p> <p>特に家庭での使用について、どう指導するのか。</p> <p>(2) 「学校施設改修」を計画的に進めるとあるが、その内容は。</p> <p>①年度別に ・学校名 ・工事名又は概要 ・各工事費の予定額</p> <p>②上記工事を施工するにあたり、教委事務局と町長部局との業務分担はどうするのか。</p> <p>(3) 「統合型校務支援システム」を本格運用開始しとあるが、どのような内容か。また、期待される効果は。</p> <p>(4) 「スクール・サポート・スタッフ」を導入しとあるが、業務内容、配置方法、期待される効果は。</p> <p>(5) 「社会教育の充実について」とあるが、そのためには、社会教育主事の配置が欠かせないと思うが、令和3年度で配置が実現できないか。</p> <p>(6) 「スポーツの町、波佐見」にふさわしい競技力向上を進めますとあるが、波佐見にふさわしい競技力向上とは。</p>		

通告順位	8	通告者	2番 岡村真由美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 県立波佐見高等学校への支援策について</p> <p>県教育委員会は、生徒数の減少に伴い、小中学校だけでなく県立高校の統廃合も進めている。</p> <p>(1) 川棚高校からの独立、陶芸デザインコースの設置、美術工芸科への学科改編。波佐見高校のこの3つの転換期に、町はどう関わってきたか。</p> <p>(2) 町は、波佐見高校に対し何か経済的支援を行ってきたか。また、今後行う考えはあるか。</p> <p>(3) 他市町村の県立高校への支援策をどの程度把握しているか。 例えば、松浦市、西海市など。</p> <p>(4) 第三期長崎県立高等学校改革基本計画を踏まえ、波佐見高校の存続についてどう考えているか。</p> <p>2. ふるさと教育の推進について</p> <p>「生涯学習の集い」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため無観客での開催となった。</p> <p>(1) 子どもたちの発表を聞いて、講評で述べたこと以外に感じたことはなかったか。</p> <p>(2) 今後、どのような手段で「ふるさと教育」を推進する考えか。</p>		

通告順位	9	通 告 者	1 3 番 尾 上 和 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 危険な空き家などについて</p> <p>近年、本町でも空き家が目立っている。また、危険な家屋もあると聞く。</p> <p>(1) 土地を更地にした場合、土地に対する固定資産税の減免はできないか。</p> <p>(2) 老朽化して倒壊や一部崩落のおそれがある危険な空き家の除却を促進し、町民の安心安全な住環境の形成を図るために、町内に存在する老朽危険空き家の解体工事を行う所有者に上限を決め、補助金制度の新設ができないか。</p> <p>2. 施政方針について</p> <p>現在、コロナ禍により蜜を避けるためキャンプブームとなっている。</p> <p>施政方針にキャンプ場の整備とあるが、平成23年3月議会で鴻ノ巣公園周辺にキャンプ場を含む総合型自然公園整備を質問した。今回の計画はどのようなものか。</p>		

通告順位	10	通告者	8番 三石 孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 官製談合防止対策について</p> <p>(1) 進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 対策の実施計画はどうか。</p> <p>2. 環境問題について</p> <p>(1) 環境保全条例制定の取り組みはどうか。</p> <p>(2) ニシケン工業への指導は、長崎県と一緒に行われているが、その効果と今後の見通しはどうか。</p> <p>3. 予算の策定について</p> <p>(1) 町単独で行ったコロナ対策事業の総額、また原資はどうか。</p> <p>(2) 今後の緊急事態等、不測の事態へ対応した予算の計上はどうか。</p>		